

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	生保内節盆踊り開催費補助金							
担当課係名	田沢湖公民館	課	-	係	作成者	黒澤文喜		
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち				総合計画のページ 99～100		
	基本計画	芸術文化活動の振興と文化財の保護						
	主要施策	文化財の保護と後継者の育成						
予算費目	一般	会計	10 款	教育費	5 項	社会教育費	2 目	公民館費
事業期間	平成	年度	～	平成	年度	新規 / 継続の区分		継続
性質区分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理							
根拠法令等								
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務							
運営方法	☐ 直営 ☐ 直営(一部民間委託) ☐ 民間委託(全部) ☒ 補助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	盆踊りをお盆の行事として市民が楽しめるよう継承する。 市の文化遺産である「生保内節」の手踊りの継承、保存を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	生保内節の手踊りで盆踊り。 毎年、8 / 20日に開催する。(21日予備日)

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	開催及び準備日数	目標	日	5	5	5	
			実績	日	5	5	3	
			達成度	%	100.0%	100.0%	60.0%	
	成果指標	参加者数	目標	人	300	300	400	
			実績	人	300	400	0	
			達成度	%	100.0%	133.3%	0.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				300	300	154	
	人 件 費 (B)		—		785	807	793	
	職 員 数		—		0.10	0.10	0.10	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				1,085	1,107	947	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				0	0	0
		県 支 出 金				0	0	0
		地 方 債				0	0	0
		そ の 他				0	0	0
		一 般 財 源				1,085	1,107	947
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		217,000	221,400	315,667
市民1人当たりのコスト(円)		—		34	35	31		

【事務事業の今までの成果】

田沢湖地域での盆踊りとして残っているのは生保内節盆踊りだけである。
生保内節の手踊りの継承に役立っている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	地域の盆踊りはどこの自治体でも減少している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	地域の盆踊りとして、市民及び市役所職員にもっと参加してほしい。 他の盆踊りを招待して見せてほしい。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	現時点では実行委員会組織の見直しや、休憩時間での他の踊りなどの参加を求める。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

平成20年度は雨天のために中止となり、補助金の一部返還を受けた。
実行委員会に各町内会の会長にも参加してもらい、意見を聞く。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	地域活性化に寄与するため、実行体制の見直しを図りながら継続すべきと考えます。

一次評価診断図

